

1

センター
活用事例

販路拡大



茶道具から現在の暮らしに沿った生活道具などが並ぶ。



+1のひと工夫で 新たな販路開拓へ

株式会社八柳

〒014-0347 秋田県仙北市角館町小勝田松ヶ崎29-20 TEL.0187-55-4344 FAX.0187-55-4221
<http://www.yatuyanagi.net/>

「角館にお越しの際は気軽に立ち寄ってください」と八柳さん

“販路の教科書”に参加！

樺細工の製造販売元として創業100年以上の歴史を持つ株式会社八柳。風情ある建物は角館の街並みと見事に調和し、訪れる人を楽しませる。

「様々な方からアドバイスを受けて、商品の見せ方、伝え方を変えてみました」と語るのは専務取締役の八柳浩太郎さん。古い歴史を持つ樺細工は、山桜の樹皮の独特な美しい艶、深みのある色合いと、お茶などを美味しく保つ高い調湿性や割れにくい強靱性を合わせ持つ。以前は所狭しと並んでいた小物類は厳選され、技術の粋を凝らした自慢の茶筒を正面に据えた。「ちょうど新規販路の拡大を考えていたこともあり、昨年、活性化センター主催で開催された『販路の教科書』に参加したんです」。セレクトショップやWEBなど分野ごとの専門家を招き、“売る側の生の声に学ぶ”『販路の教科書』。同社の商品は一様に“素材の良さ”を評価されながらも、“伝え方・商品力にもう一工夫”との声が多く

挙がった。「新商品を作るよりもまず樺細工の存在と良さを知ってもらうことが必要だと気付きました」。今回取り組んだ店舗のディスプレイ変更も複数の講師からのアドバイスのひとつだ。

暮らしに樺細工のアイテムを

セミナーをきっかけに、今年2月には東京ビックサイトで開催されたギフトショーに新たに開発した“コーヒーキャニスター”を携え、出展した。

「センターでは事業の組み立て方などの全体的な内容から、最適な製造方法の検討や課題解決に適した人材の紹介など具体的な悩みまで、一緒に取り組んでもらえるのが非常に助かっています。また、セミナーを通して県内外の多くの人といい繋がりができました。この繋がりを活かして、今後も新しい取り組みをしていきたいと思っています。現代の暮らしにも取り込める樺細工の良さに多くの方に触れていただけるよう、お店に来てくれるお客様を増やしていきたいですね」。

活用事例

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等における専門的な助言や、デザイナーとのマッチング、コーディネートを支援します。

お問い合わせ 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614